

# 金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/02/14号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

## インフレとウクライナ情勢で1860ドルへ上昇

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



ゴールドが1830ドルを大きく超えて一週間が終わりました。その背景となっているのはまず進行する一方のインフレ。木曜日に発表されたCPIは7.5%と1982年以來40年ぶりの数字となりました。この発表により10年長期金利は2%を超えて、その瞬間ゴールドは売られました。すぐに上昇、もはや金利上昇による下圧力よりもインフレ上昇による上圧力の方が強いことがここでもはっきりしました。インフレを一時的なものとしてきたFRBの政策ミスにより、今後の金利引き上げも全く追いつかないという危機的上昇になっていると言えるでしょう。このような状況でインフレヘッジのゴールドへの資金流入が明らかになっています。そしてそれに油を注いだのがウクライナ情勢です。金曜日に米国がウクライナの自国民に対して48時間以内に退去するように勧告を出し、日本も国民に対して退去勧告を出しました。北京オリンピックが終わる前にでもロシアの侵略があり得るとの見方を米国は出しており、週末金曜日には、米国の株式市場はダウは1.4%、S&Pは1.9%、Nasdaqは2.8%の下げとなり、長期金利は2%割れ（安全資産として長期国債が買われる）、ゴールドは1830ドルから1860ドルを超えて上昇、週末にも異変の可能性を考えるとゴールドをショートしたまま週末を迎えたくないという心理も働いたと思われるが、インフレと地政学リスクが重なりゴールドにとってはパーフェクトストームと言ってもよい状態です。そのためRSI（相対力指数）は66と大きく上昇し、ほぼ買われ過ぎと思われるところまで上昇しており、ウクライナ問題が平和的に落ち着くことがあれば、この分のリスクプレミアム分は下がるでしょう。それでもこのインフレの上昇はゴールドの価格を上昇させるのに十分な材料だと思えます。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 金ETF証拠金取引WEEKLY REPORT

## 【マーケット・トピック】

## 先物市場の仕組み (2)

現在、このComex/Nymexはほぼ24時間取引しています。一週間の始まりは東京時間の月曜日の午前8時（米国夏時間は午前7時から）に始まり、土曜日の午前7時で一週間が終わります。平日は朝7時から8時までは取引はストップしているの、一日23時間の取引をしていることになります。このComex gold futuresが現在のゴールドの価格を決めているとって過言ではないでしょう。筆者が最前線でゴールドのトレーディングをやっていたころ（30-20年くらい前）はまずLoco London goldありき、だったのですが、今ではその地位は完全に逆転、トレーダーたちの最終ヘッジのマーケットはComexです。Loco Londonの価格をquote（提示）するマーケットメーカーも、ComexのActive month（ほとんどの取引が集中するコントラクト。Dec-Feb-Aprという風に時期によって変わっていきます。）の価格からEFP(Exchange for Physicals ; Comex Active monthとLoco Londonのswap rate)を使って、Loco Londonの価格を出しています。つまり、現在、すべてのゴールド価格の根源はComexにあると言っていいでしょう。これを読んでいるであろう個人投資家の皆さんのみているCFDの価格も、その源泉はComexにある場合がほとんどです。細かくいうとCFDのサービスプロバイダーによって変わりますが、ずばりそのままComexの価格である場合とそれを参照にしたスポットの価格である場合がありますが、すべてはComexにその元をたどることができます。現在、ゴールドのいわゆる「price finding 価格発見」メカニズムはComexにあります。このComexが23時間をカバーしていることから、世界のマーケットはこれを中心に回っています。Loco London spotはComexと同時進行ですが、ほぼComexのミラーマーケット。そしてOSE（旧Tocom）も裁定取引業者が常に、同時刻のComexやLoco Londonとの裁定取引を行っており、同じ時間のComex / Loco London / OSEは少し形は違いますが、ゴールド純分の価値に引き直すとほぼ同価値になります。いずれかが割高になったり割安になったりすると、すぐに裁定が入り価値は標準化されます。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することによるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで

